

令和5年度 美しい心づくり 標語コンクール 入賞作品

【最優秀賞】

氏名	標語	思い・エピソード
吉田 百花	辛いとき 寄りそってくれた 温かさ	私はよく、悩み事がかかえこんでしまう人でした。なので、誰かに相談したり、話をきいてもらうことが苦手で、悩んでしまうたびに泣いていました。そんな時、私の友達は何やみに質問せず、ずっと寄りそってくれました。そんな時、私はその友達のことを「本当の友達」だと感じました。

【優秀賞】

氏名	標語	思い・エピソード
加藤 秀介	町中で やさしい言葉が あふれてる	やさしい気持ちになったから。
菊井 大雅	迷惑をかけ合い、助け合える関係	時には相手に迷わくをかけることがあるけれど、そのかわりに助け合えるということ。
中川 颯人	ありがとう 心がつながる 魔法の言葉	授業の時間「ありがとう」という言葉が人の心も良くしていくし、自分の心も良くして、まるで魔法の言葉と思ったから。
渡 英華	その笑顔 ずっと見ていたいな 未来まで	大好きな友だちの笑顔を、いつまでも、くずれることなく見ていたいという思いや、笑い合いたいという思いからこの標語を書きました。

【佳作】

氏名	標語	思い・エピソード
櫻澤 陽香	思いやり みんなに配り 笑顔咲く	以前、私がちょっとした思いやり・気くばりをしただけで笑顔になった友達がいました。その体験をしてから今でも思いやりを持って友達と接するようにしています。そして1人でも笑顔になる人が増えるようみんなであれ少くも思いやりの心を配れば良いなという思いでこの標語をつくりました。
寺田 一可	ごめんなさい 親しき仲にも 礼儀あり	ごめんなどの言葉を素直に言える仲でいたい。
唐 嘉悠	「だいじょうぶ？」 その一言で 心あたたまる。	「だいじょうぶ？」といわれて、人の美しい優しさにふれたから。
沼本 彩子	友達は 私の心の 宝物	悲しい事があっても、友達といると楽しい気持ちになれたから、宝物だと思いました。
長谷川 蓮乃	居場所はない 目を開いてみて ちゃんという	この世界は生きづらい、居場所なんてない、なんで私だけ…と思っていましたが、目を開いて上を向いて世界を見たら、毎日おはようと言ってくれる友達、何かあったらすぐに大丈夫？とかけつけてきてくれる友達、私はこんなにも幸せなんだと気づけました。いばしょなんていない。
半田 佳恵	「ありがとう」 その一言に 気持ちこめ…	「ありがとう」という一言でも気持ちをこめてつたえれば相手の心をゆさぶるということを学校生活の中で学んだ。
丸川 結実	つらくない ふりした私に 大丈夫？	私は体調が悪くなったときやかなしいことがあったとき、表情にださず、自分でかかえこんでしまうことが多くあります。ある日、学校で気持ちが悪くなってしまいました。しかし、その時もつらくないふりをしました。けれど友達はすぐに気づき「大丈夫？」ときいてくれて保健室にもつれて行ってくれました。